



# 2014年3月期 決算説明会

**ケンコーマヨネーズ株式会社**

2014年 5月 21日



- ①. 2014年3月期 決算の概況
- ②. 「中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014」  
市場演出型成長戦略の展開
- ③. 2015年3月期 業績予想

## ①. 2014年3月期 決算の概況

常務取締役 財務経理本部長 村田 隆

# 1. 2014年3月期 食品業界動向

①. 2014年3月期 決算の概況



## ■ 外食産業

- 少子高齢化や中食市場拡大の影響はあったが、景気の上向きつつある状況もあり、市場は前年並み
- ファストフードや居酒屋は前年を下回る  
ファミリーレストランは高価格のメニューが受け入れられ堅調に推移

## ■ スーパーマーケット

- 野菜の価格が上昇したものの、食料品の売上高増
- 経済対策による消費の回復が見られ始めたことや、消費増税前の駆け込み需要の影響により、売上高は前年を上回り、17年ぶりのプラスに

## ■ コンビニエンスストア(CVS)

- 生鮮食品や小サイズの総菜の販売、宅配サービスの拡大により、主婦などの女性層や高齢者層の客層拡大
- 店舗で抽出したコーヒーや味にこだわったチキンなど、外食市場を奪う動き
- PB商品の強化

## 2. 2014年3月期 決算の概況

①. 2014年3月期 決算の概況



### ■ 3期連続となる過去最高売上高更新

売上高 573億01百万円 (前年同期比:5.1%増)

- 分野を細分化した業態別の個別対策によるきめ細やかな対応力
- グループ相乗効果によるメニュー提案力の強化
- 当社Webサイト上への業態別メニューの紹介

### ■ 原料価格の影響や円安による圧迫により減益

経常利益 22億58百万円 (前年同期比:12.3%減)

- 穀物・鶏卵相場の上昇等、想定以上の原料価格の高騰
- 販売数量増やマヨネーズ類を中心とした価格改定、工場における生産効率UPを実施したが、吸収しきれず減益

### 3. 2014年3月期 業績【連結】



①. 2014年3月期 決算の概況

#### ■ 損益計算書の概要

単位：百万円

	2013年3月期		2014年3月期				2014年3月期 修正予想 (2014/4/4発表)	
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	修正 予想比	金額	構成比
売上高	54,533	—	57,301	—	5.1%	0.5%	57,000	—
売上総利益	14,904	27.3%	14,770	25.8%	△0.9%	—	—	—
販売管理費	12,126	22.2%	12,342	21.5%	1.8%	—	—	—
営業利益	2,778	5.1%	2,428	4.2%	△12.6%	5.6%	2,300	4.0%
経常利益	2,574	4.7%	2,258	3.9%	△12.3%	5.1%	2,150	3.8%
税金等調整前純利益	2,388	4.4%	2,215	3.9%	△7.3%	—	—	—
当期純利益	1,409	2.6%	1,265	2.2%	△10.2%	11.0%	1,140	2.0%
1株当たり当期純利益	99円16銭		89円08銭				80円22銭	

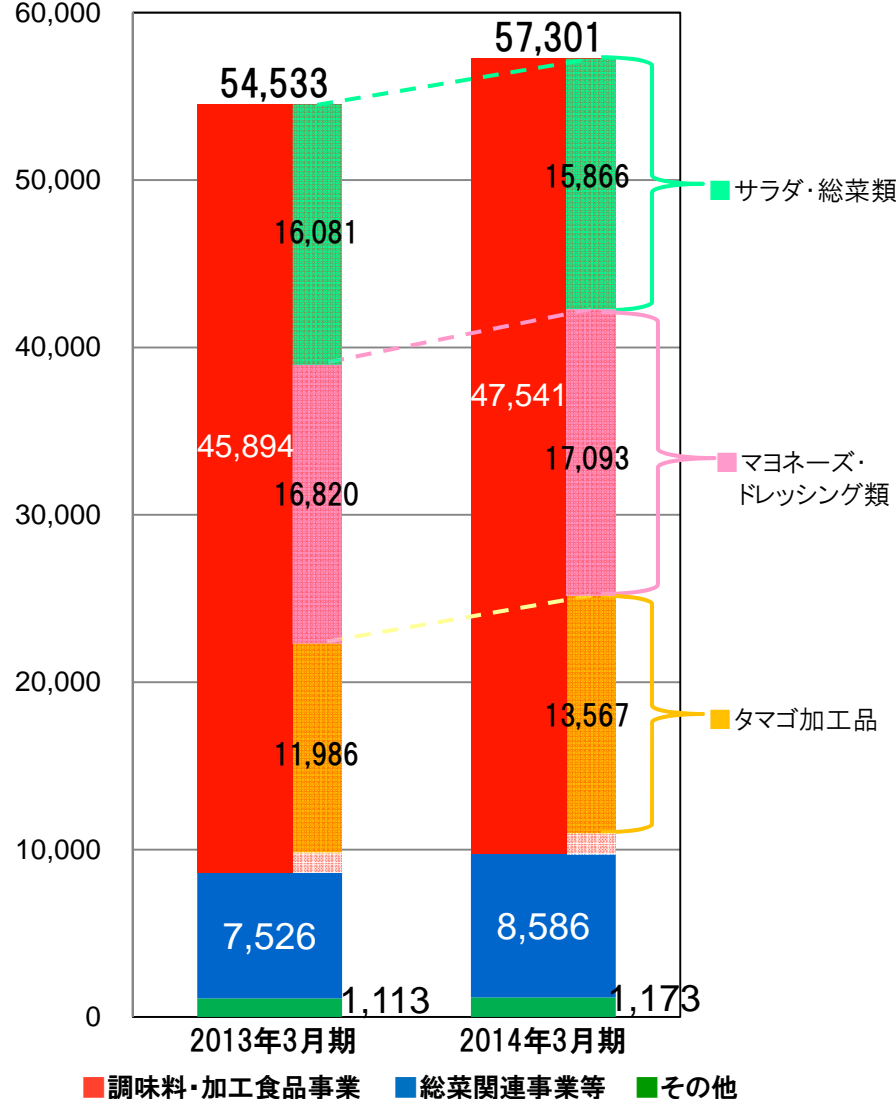
## 4. 事業別 売上高概況【連結】

①. 2014年3月期 決算の概況



単位:百万円  
60,000

### 売上高構成



### ■ 調味料・加工食品事業 (前期比+3.6%)

<サラダ・総菜類、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品>

- 販売重量：前年比増 (前期比+2.6%)
- 販売単価：前年比増 (前期比+0.6%)

● 商材別前期比	売上高	販売重量
サラダ・総菜類	△1.3%	0.0%
マヨネーズ・ドレッシング類	+1.6%	△0.6%
タマゴ加工品	+13.2%	+13.3%

### ■ 総菜関連事業等 (前期比+14.1%)

<フレッシュ総菜(日配サラダ、惣菜)、グループ内生産受託>

- 量販店向け:ポテトサラダ・パスタサラダの新規採用

### ■ その他 (前期比+5.4%)

<ショップ事業(Salad Cafe)及び海外事業※>

- Salad Cafe オリジナルドレッシングやスープサラダの発売
- 店舗：リニューアル

2013年8月:Salad Cafe 東武百貨店池袋店

2014年2月:Salad Cafe 近鉄あべのハルカス店

## 5. 2014年3月期 事業別 売上高・セグメント利益【連結】

①. 2014年3月期 決算の概況



### ■ 事業別売上高・セグメント利益(連結)

単位：百万円

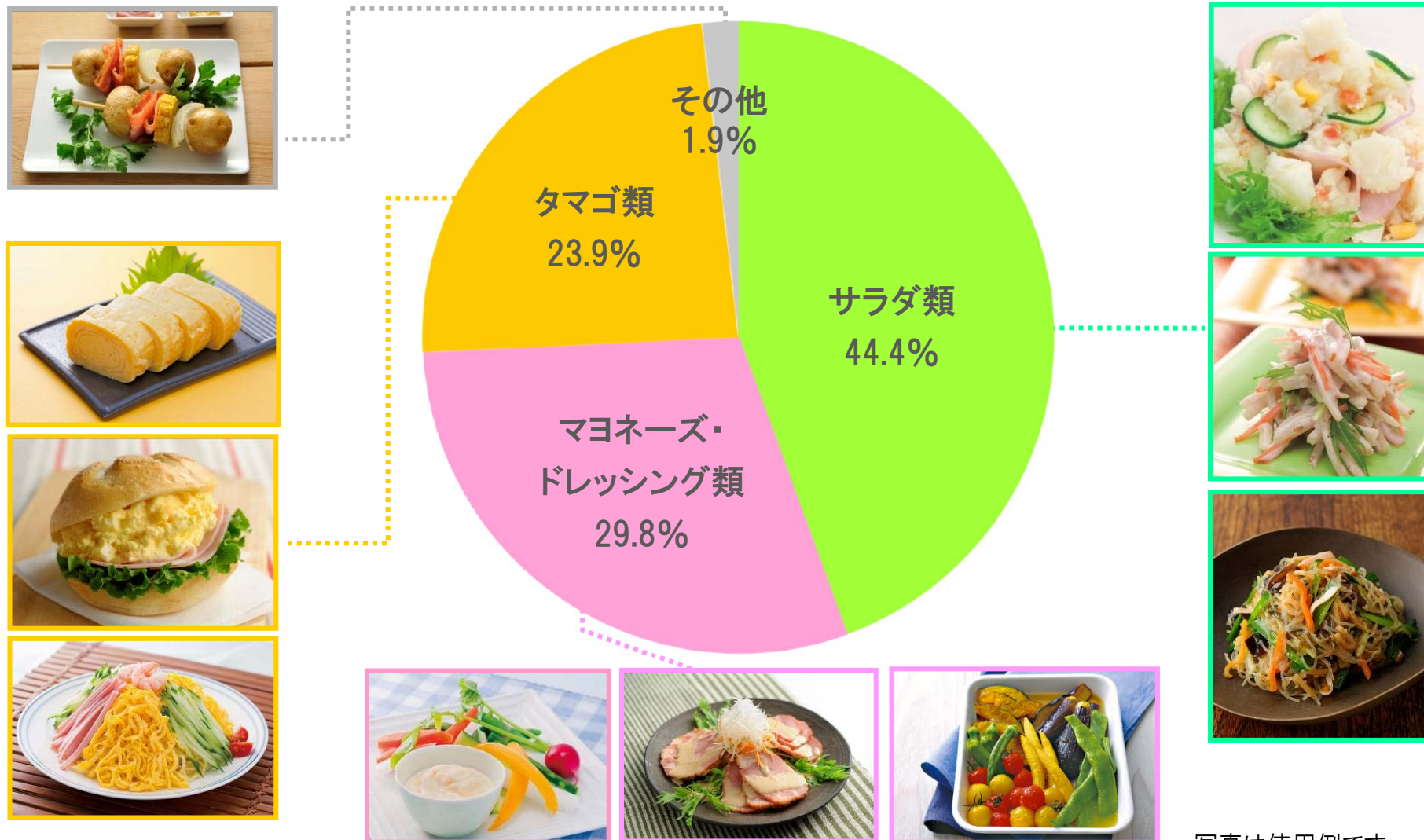
	2013年3月期	2014年3月期	前期比	
			増減	%
売上高	54,533	57,301	2,767	5.1%
調味料・加工食品事業	45,894	47,541	1,647	3.6%
総菜関連事業等	7,526	8,586	1,059	14.1%
その他	1,113	1,173	60	5.4%
セグメント利益	2,574	2,258	△315	△12.3%
調味料・加工食品事業	2,502	2,106	△396	△15.8%
総菜関連事業等	320	369	48	15.0%
その他	△255	△216	38	—
調整額	6	0	△6	—

## 6. 商材別 売上高構成比 【連結】

①. 2014年3月期 決算の概況



2014年3月期



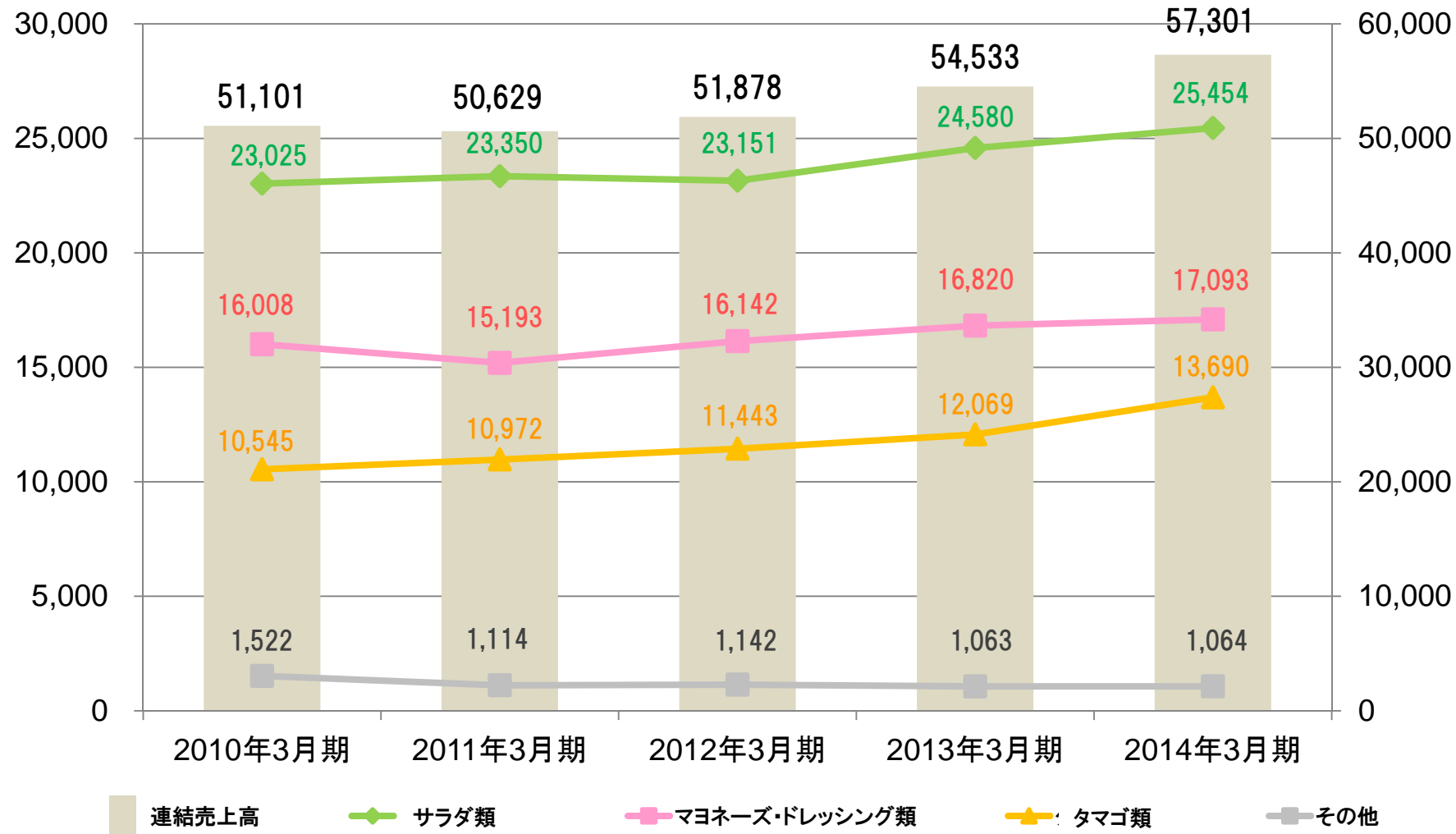
# 7. 商材別 売上高推移【連結】



①. 2014年3月期 決算の概況

商材別売上高  
(単位:百万円)

連結売上高  
(単位:百万円)

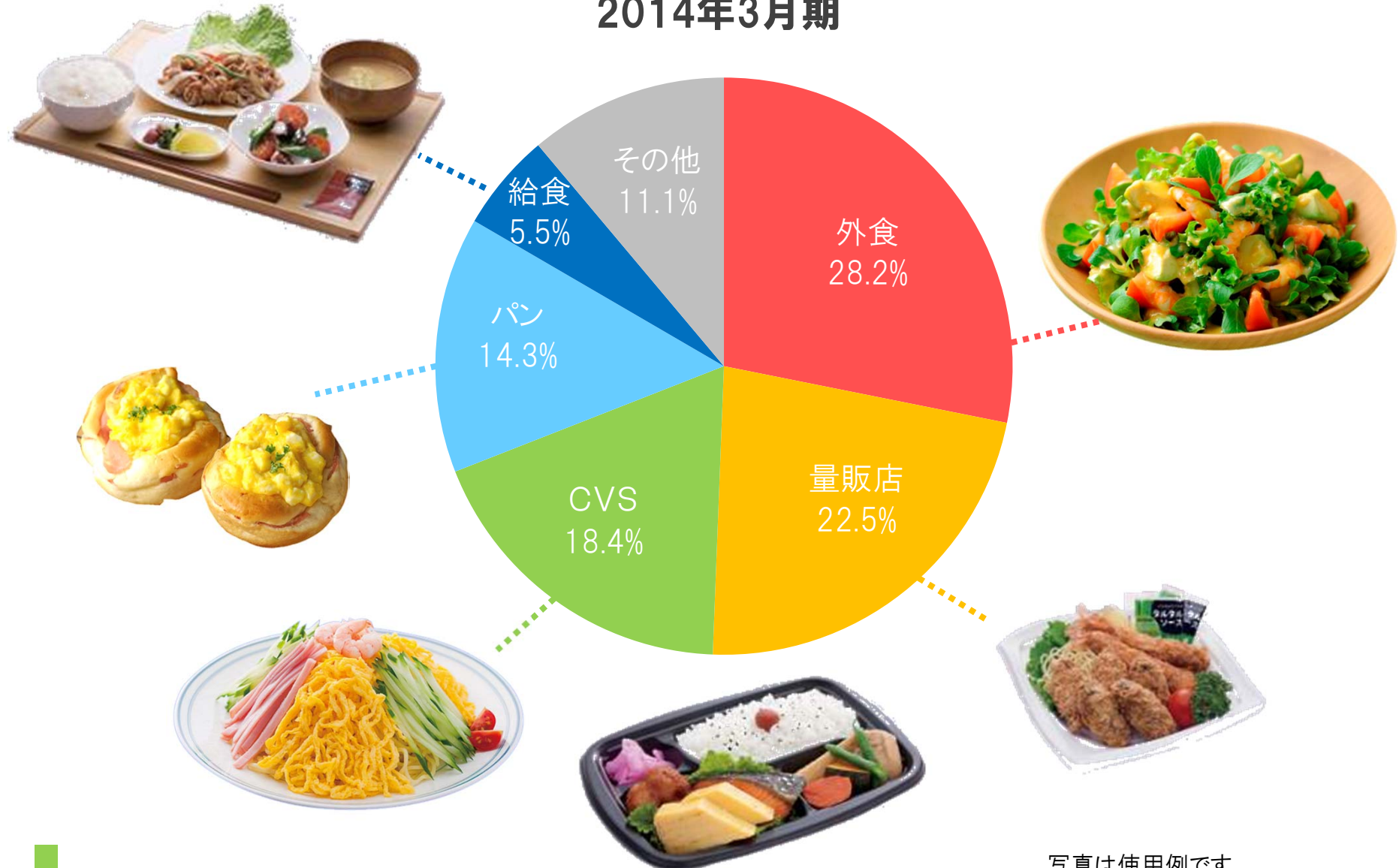


# 8. 分野別 売上高構成比【連結】(1)



①. 2014年3月期 決算の概況

## 2014年3月期



写真は使用例です

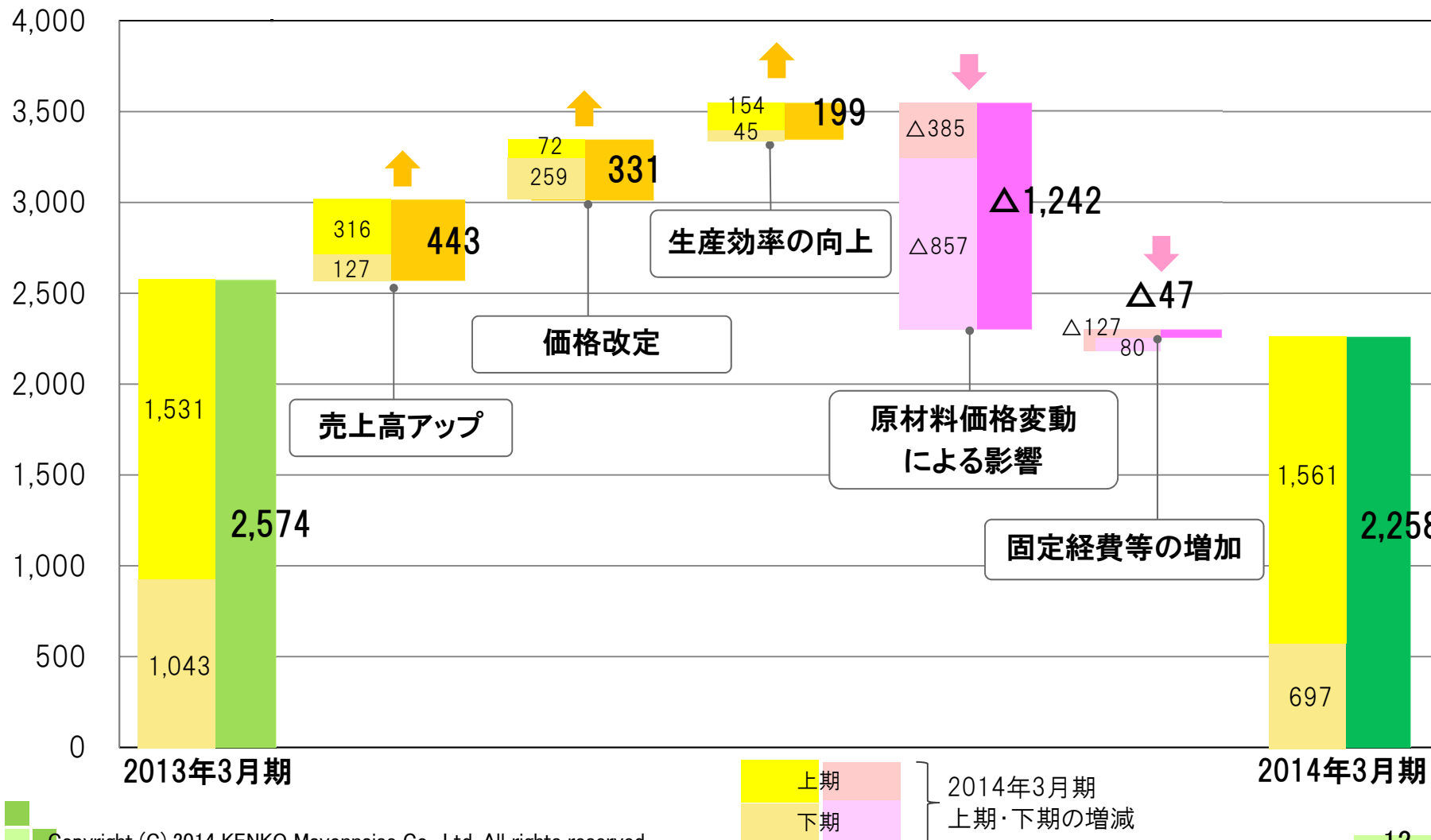
# 9. 経常利益増減要因【連結】



①. 2014年3月期 決算の概況

## ■ 経常利益増減要因(連結)

単位：百万円



## 10. 貸借対照表の概要【連結】



①. 2014年3月期 決算の概況

単位：百万円

### ■ 財政状況

\* 長期未払金を含む

		2013年3月期	2014年3月期	増 減	前年度末比
資 産	流動資産	18,403	18,095	△307	△1.7%
	固定資産	15,595	21,590	5,995	38.4%
資産合計		33,998	39,686	5,687	16.7%
負 債	うち有利子負債残高 *	5,526	9,943	4,417	79.9%
		19,197	23,876	4,678	24.4%
純資産		14,801	15,810	1,009	6.8%
負債・純資産合計		33,998	39,686	5,687	16.7%
1株当たり純資産		1,041円54銭	1,112円55銭	71円01銭	6.8%
自己資本比率		43.5%	39.8%	△3.7%	—

- 中期経営計画Ⅳの方針に基づき、積極的な設備投資及びグローバル展開を進めた結果、総資産は5,687百万円増加、有利子負債残高は4,417百万円増加、自己資本比率は3.7%ダウンの39.8%となった

# 11. キャッシュフローの概要【連結】



①. 2014年3月期 決算の概況

## ■ キャッシュフローの状況

単位:百万円

	2013年3月期	2014年3月期	増 減
営業活動によるCF	2,822	1,265	△1,557
投資活動によるCF	△2,003	△4,853	△2,849
財務活動によるCF	1,082	1,552	469
現金及び現金同等物の期末残高	5,919	3,884	△2,035

- 営業CF:主に税金等調整前当期純利益2,215百万円、減価償却費1,004百万円、法人税等の支払額△1,240百万円等によるもの
- 投資CF:主に有形固定資産の取得による支出△4,192百万円等によるもの
- 財務CF:主に割賦取引による収入1,856百万円、長期借入れによる収入1,989百万円、長期借入金の返済による支出△1,137百万円等によるもの

## ②. 「中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014」 市場演出型成長戦略の展開

代表取締役社長 炭井 孝志



## ■ 市場演出型企業としての存在感アップを目指す

1. グローバル企業となる

---

2. 事業領域の拡大

---

3. 「サラダ料理」の確立・情報発信を行い、  
市場演出型企業としての戦略を実践

---

4. サラダカフェブランドの推進・浸透

---

5. 人材育成、体制強化

---

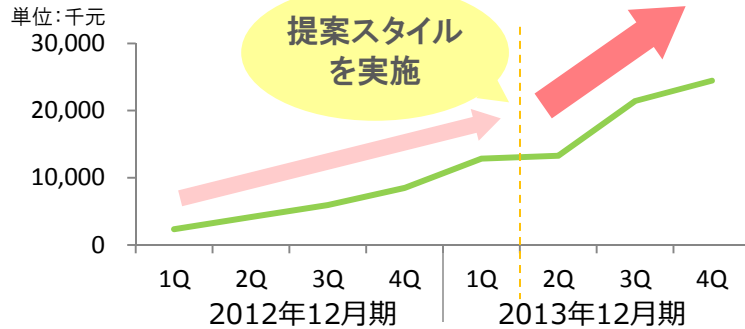
# 1. グローバル企業となる

②. 中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014



## ● 海外事業

### ■ 中国



2014年度

**販路の拡大**  
→日系大手外食チェーンとの取引

### ■ インドネシア

2013年10月  
ハラール認証を取得し、  
マヨネーズの生産・販売開始  
→ 液卵の販売開始



2014年度

- ・ 一般消費者向け → 業務用への展開
- ・ ハラール食品: 日本を含む国外への輸出も検討

単月黒字化を目指す

## ● 海外輸出

2012年度:21か国 → 2013年度:26か国

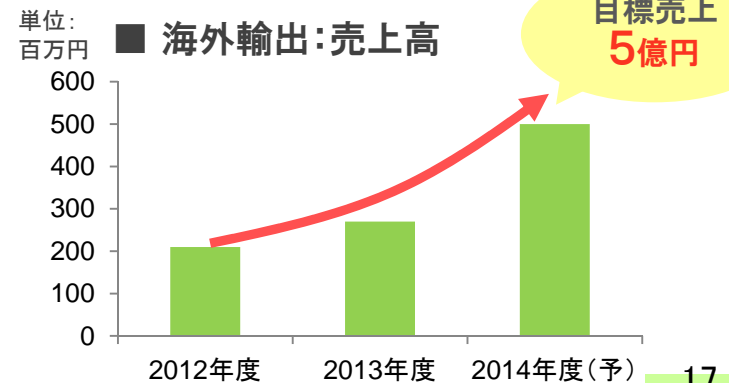
アジア(15か国・地域)

ヨーロッパ(6か国)

北中米(3か国・地域)

オセアニア(2か国)

今後も  
拡大予定



## 2. 事業領域の拡大 ～世界のソース・世界のサラダ～

②. 中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014



New

### 世界のソースシリーズ



### 世界のサラダ料理シリーズ



🇬🇧 コロネーション チキンサラダ



🇩🇪 極うま ジャーマンポテト



🇺🇸 トマト チリビーンズ



🇹🇷 タイ風 マッサマンカレー



🇺🇸 ケイジャン チキンサラダ



🇫🇷 キャロットラペ



🇰🇷 チャプチェ



🇧🇷 ガパオ鶏ひき肉のバジル炒め



🇪🇸 冷凍スペイン風 オムレツ



🇪🇸 アリオリポテト

New

		2012年度	2013年度
世界のソース	品目数	14品	17品
	販売重量	324t	451t
世界のサラダ料理	品目数	8品	10品
	販売重量	69t	174t

## 2. 事業領域の拡大 ～商品戦略～

②. 中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014



### ● B to C向け商品



小型形態(70g~110g)のロングライフサラダ  
「サラダのプロがつくった」サラダシリーズ

量販店やCVSへ、販路拡大中

### ● 新市場戦略

#### ● やわらか食のラインナップ拡充



2014年度 粉末マヨネーズタイプの発売

### ● 機能性商品の拡充

- 「食物繊維入り」や  
チルドドレッシング商品の拡充
- 低カロリー・ノンオイルシリーズの拡充

2014年度  
新しいマヨネーズタイプの提案  
栄養素入り商品の発売

### ● カット野菜

2013年12月～  
北海道エリアにて限定販売

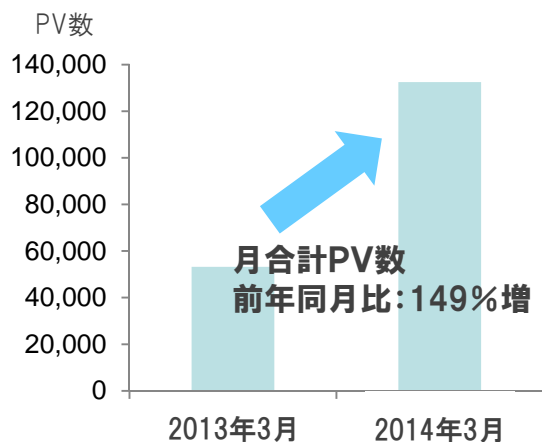
### 3. 「サラダ料理」の確立、市場演出型企業の戦略 ～Web・メディア～



②. 中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014

#### ● Webサイト活用

フードサービス業向けに業態別や季節・イベントの特集、「サラダ料理」レシピを更新中



役立つヒントが満載!  
業態別ご提案レシピ

居酒屋向け特集

人気メニューづくりを応援  
季節の特集レシピ

夏野菜の代表格  
トマト特集

ワンハンド  
フード特集

お花見特集

お野菜スイーツ特集

ピザ・バーガー向け特集  
話題性を求めるピザ・バーガーにぴったり!

寿司向け特集  
百花繚乱  
未来寿司

総菜量販向け 特集  
野菜メニューのパリエーションを広げたい量販店にぴったり!

Salad Cuisine Contents  
サラダ料理  
コンテンツ

SALAD 9月  
ポテトサラダ

SALAD 3月  
コールスロー  
サラダ

合計  
約**370**レシピ  
(2014年3月末現在)

#### ● メディア活用

ゲスト&リスナーへ向けた「サラダ料理」のご提案

2013年10月～  
ABCラジオ(1008kHz)  
「サラダトーク～お仕事カフェ～」  
毎週日曜日 あさ8:25～放送



食べてビックリ!  
サラダになったたこ焼き



変わりライスサラダ  
まぐろのつけ盛りスタイル

2014年度  
引き続き  
あらゆるメディアを活用し  
「サラダ料理」を提案

### 3. 「サラダ料理」の確立、市場演出型企業の戦略 ～総合フェア～

②. 中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014



#### ● 当社総合フェア

【テーマ】 KENKO MARCHÉ 2013 サラダフル♥ライフ

2013年11月に東京・大阪にて開催

【来場者】 東京会場：2,030名 大阪会場：1,500名

【提案メニュー】 137レシピ



## 4. サラダカフェブランドの推進・浸透

②. 中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014



### ● 店舗

#### ○リニューアル店舗

- ・東武百貨店池袋店(2013年8月)
- ・近鉄あべのハルカス店(2014年2月)

#### ○期間限定店舗

- ・高島屋日本橋店(2013年10月)
- ・ルミネ荻窪店(2014年3月~4月)

今後の展開

新たなスタイルを重要視した店舗展開へ

### ● Web

スマートフォン化の実施  
→ PV数: **5%UP**

2014年度 HPリニューアル予定



### ● サラダカフェ サラダ料理講習会

年6回実施し  
「サラダカフェ」ファンを創出  
→ 今後も継続して実施



### ● コラボレーション

大手コンビニエンスストア  
とのコラボ商品発売



### ● オリジナル商品

サラダカフェオリジナル  
ドレッシングの発売





## 5. 人材育成、体制強化

②. 中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014

### ● 人材の育成

- 新入社員研修内容の充実

メーカーの基本「ものづくり」を習得する研修の実施

生産現場研修

開発部門研修

グループ会社研修

- 研修制度の確立

階層別や公募型、選抜型研修の設置

2014年度

公募型研修から階層別研修(全員参加型)へ  
加えて選抜型研修(次期経営者向け研修や中堅クラスの育成強化)の実施

### ● 社内教育のためのeラーニング

- セキュリティ講習会の実施

2014年度

セキュリティ講習会の続行

各種講習会の開催

### ● 生産管理システムの強化

2014年上期中に導入完了予定

工場業務の標準化・効率化

商品原価の見える化

トレーサビリティの強化

## 6.【トピックス】静岡富士山工場

②. 中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014



### ■ 静岡富士山工場竣工

割卵から製品までの**連続一貫生産ライン**で高品質な製品づくりを実現  
**焼成たまご**を年間**6,000 t** 生産(目標)

#### ● 静岡富士山工場概要

2014年3月現在

工場名	静岡富士山工場
住所	静岡県富士市大淵字城山2261番3
竣工	2014年(平成26年)3月
敷地面積	37,310㎡ (11,286坪)
延床面積	7,716㎡、鉄骨造り2階建
従業員数	76名 (うち富士市在住:68名)
アイテム数	51種類
稼働日数	約300日
投資額	約45億円



#### ● 製造ラインと生産能力

割卵(原卵処理能力):900個/分×2

使用数:1日約25t(約50万個)  
 ※卵1個50g計算



#### ● “見せる”工場づくり

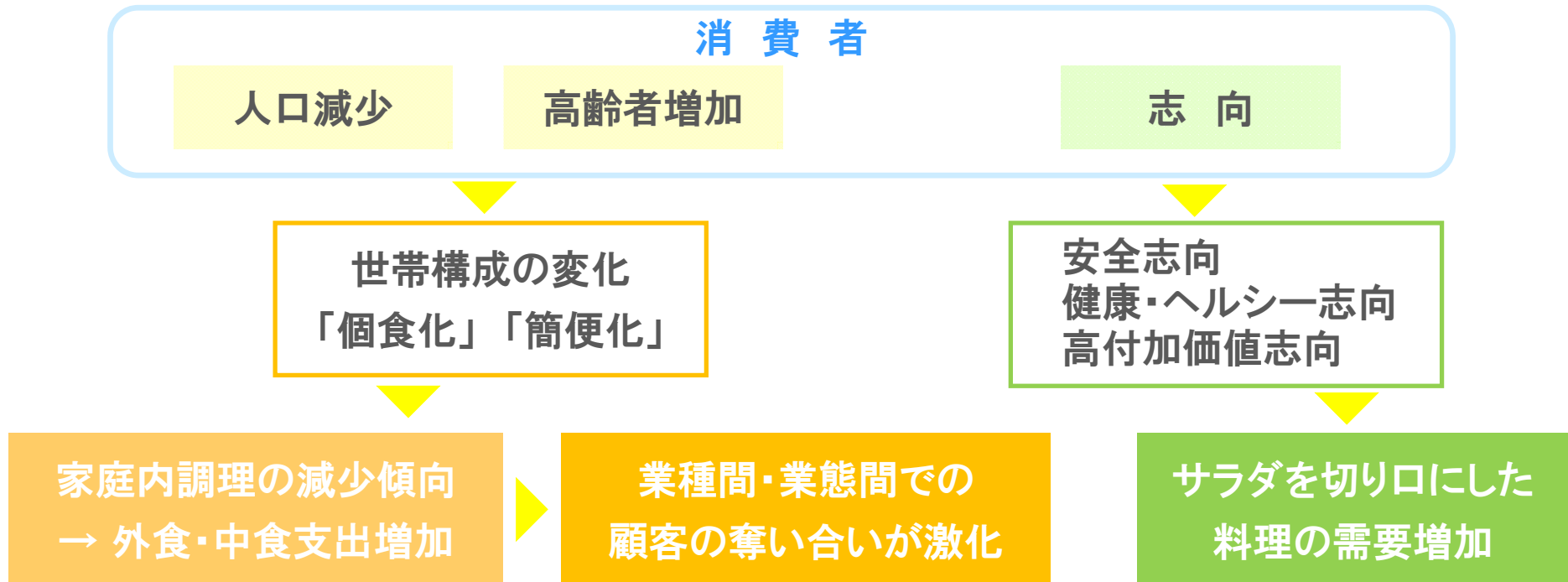
安心・安全の生産工程を見ていただく

## ③. 2015年3月期 業績予想

代表取締役社長 炭井 孝志

# 1. 業界を取り巻く環境

③. 2015年3月期 業績予想



## ● 2015年3月期

企業業績の回復  
雇用情勢の改善

消費税率の引き上げ直後の  
落ち込みはあるが影響は限定的

原料や為替相場は落ち着き  
景気は緩やかに拡大基調を  
取り戻す見込み

消費(者)動向の変化を読みながら、商品開発や価格設定について柔軟な対応が必要

## 2. 2015年3月期 業績予想【連結】

③. 2015年3月期 業績予想



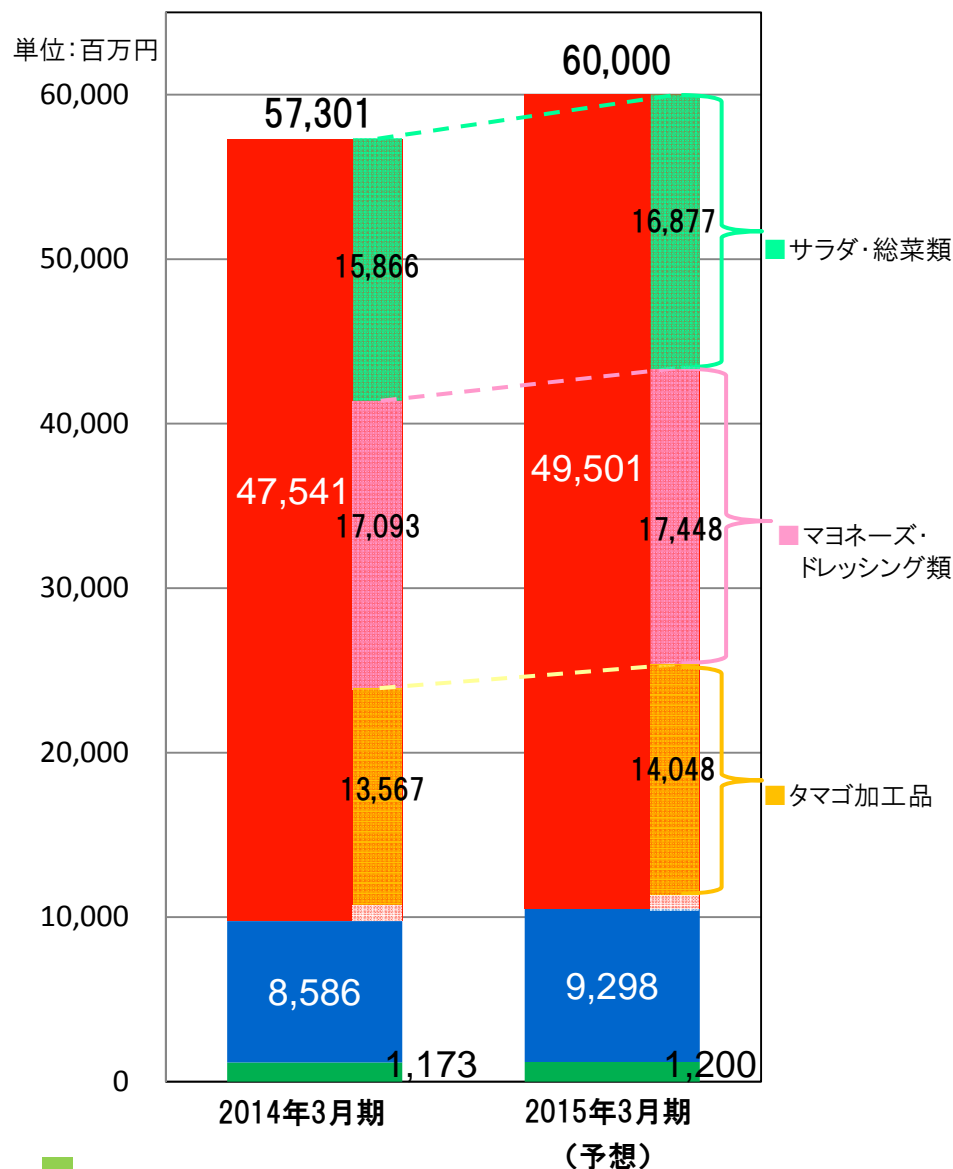
「中期経営計画Ⅳ(フォース)2012-2014」の個別戦略を確実に進め  
売上高は目標の600億円を、経常利益は27億円の確保を目指す

単位:百万円

	2014年3月期 実績			2015年3月期 予想		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	57,301	—	5.1%	60,000	—	4.7%
売上総利益	14,770	25.8%	△0.9%	—	—	—
販売管理費	12,342	21.5%	1.8%	—	—	—
営業利益	2,428	4.2%	△12.6%	2,890	4.8%	19.0%
経常利益	2,258	3.9%	△12.3%	2,700	4.5%	19.5%
税金等調整前当期純利益	2,215	3.9%	△7.2%	—	—	—
当期純利益	1,265	2.2%	△10.2%	1,590	2.7%	25.6%
1株当たり当期純利益	89円08銭			111円89銭		

### 3. 事業別売上高予想【連結】

③. 2015年3月期 業績予想



#### ● ポイント

##### ①静岡富士山工場稼働

- CVS+αの販路拡大
- タマゴ加工品の新商品発売

##### ②主力FDF®・小型FDF®の拡充

- 業態別販売戦略の更なる強化
- サラダのプロがつくった  
サラダシリーズの販路拡大

##### ③総菜関連事業等の売上高増

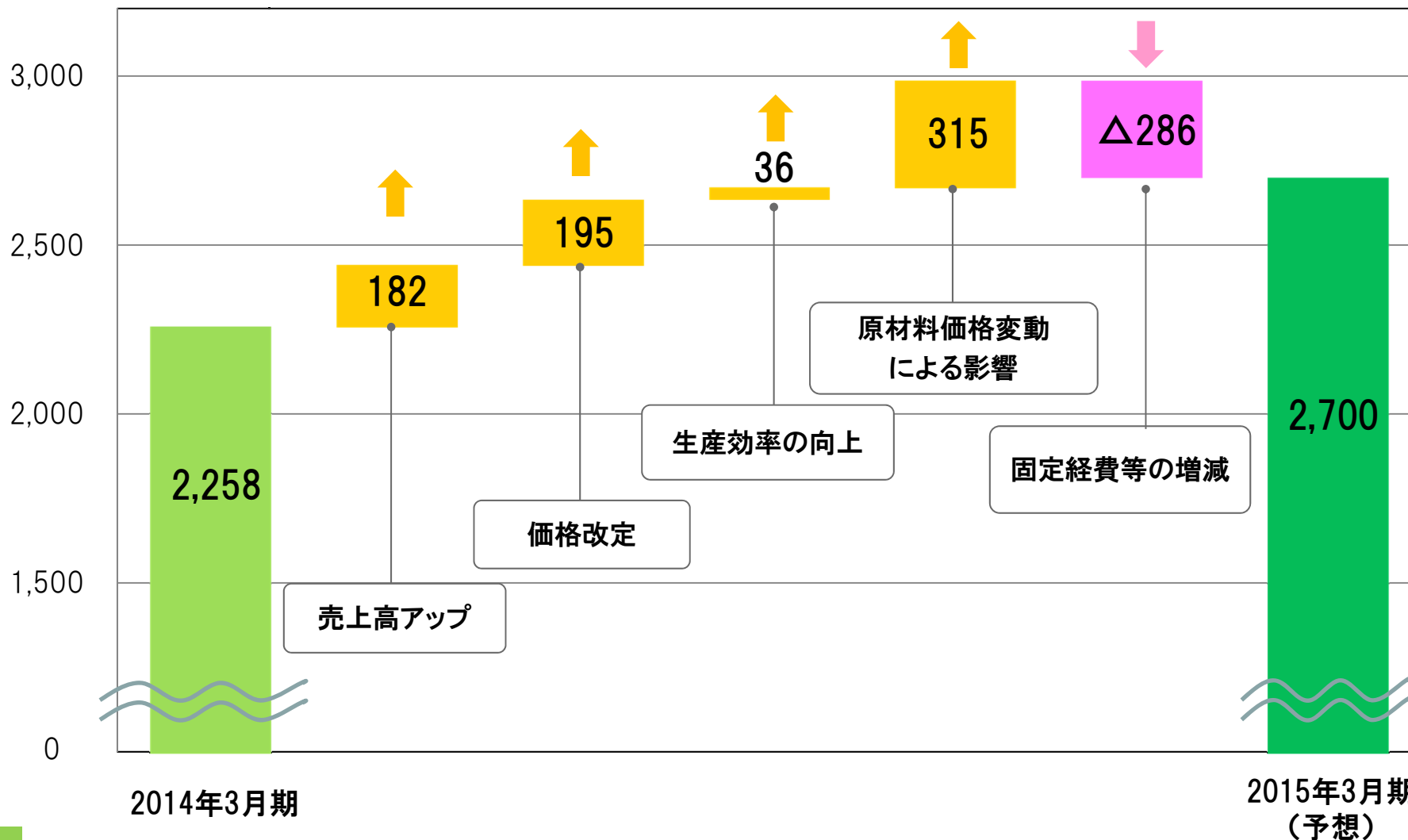
- 量販店を中心とした  
フレッシュ総菜等の販売量増

# 4. 2015年3月期 経常利益増減予想【連結】



③. 2015年3月期 業績予想

単位:百万円



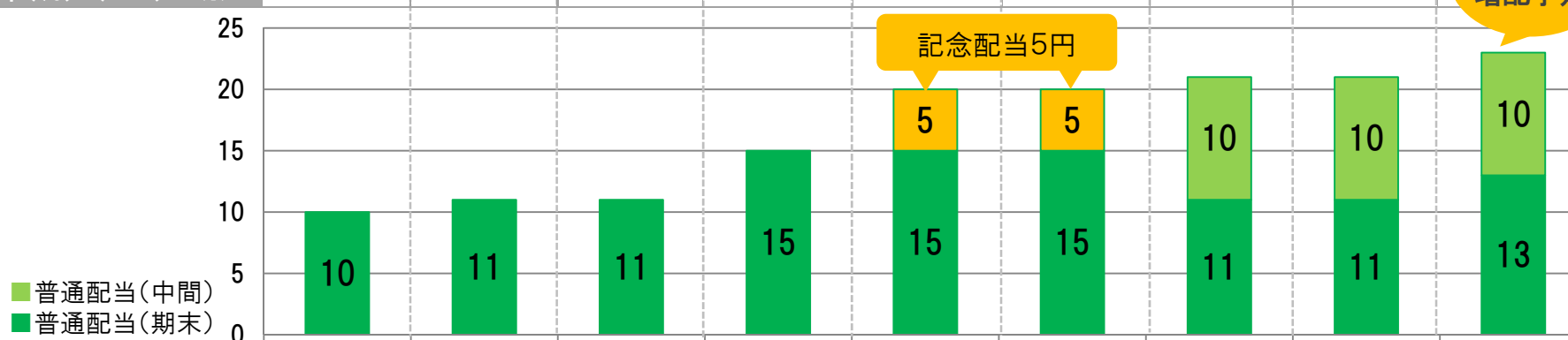
# 5. 配当政策・株主還元



③. 2015年3月期 業績予想

連結ベースでの配当性向20%を意識をし、配当の継続性に配慮しつつ、  
当社の今後の成長と発展にあわせ、安定配当水準を高めていく

	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期 (予想)
配当金(円/株)	10	11	11	15	20※3	20※4	21	21	23
配当性向(%)	6.5	19.0	47.1	13.4	19.3	27.6	21.2	23.6	20.6
配当利回り(%) (ご参考) ※1	0.9	2.6	3.0	2.5	3.6	3.2	2.3	2.3	—
純資産(株主資本)配当 率(%) (DOE) ※2	1.5	1.5	1.5	1.9	2.3	2.2	2.1	1.9	2.3



※1 配当利回り=1株あたりの配当金(合計) / 各年3月末日時点株価(終値) × 100

※2 純資産(株主資本)配当率 = 1株あたり配当金(合計) / ((期首 + 期末 1株あたり連結純資産) ÷ 2) × 100

※3 東京証券取引所市場第二部上場記念配当 5円を含む

※4 東京証券取引所市場第一部上場記念配当 5円を含む

# お問い合わせ



- IRお問い合わせ先

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
- 担当者 : 執行役員 経営企画統括室長 渡辺 亮彦
- 電話 : 03-5962-7787
- E-mail : [ir@kenkomayo.co.jp](mailto:ir@kenkomayo.co.jp)

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。